

福島産水素で U2ロック

埼玉で来日公演

燃料電池車が機材電源に

「ハイドロサプライ」(グループ)協力



U2の来日公演で福島産水素による電気を供給するMIRAI

さいたまスーパーアリーナで四、五の両日、開催されたアイルランドの世界的ロックバンド「U2」の来日公演で、福島産水素から発電された電気がメンバーのギターやベース、アンプなどの音楽機材に使われた。発電時に二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーでつくられた水素が、著名な海外アーティストのコンサートに電源として供給されたのは初めて。

低炭素社会の実現を力と製造された。この目指す多摩大ルール形成戦略研究所(国分俊史所長)が中心となったプロジェクトで大手企業が参画した。水素は郡山市にある産業技術総合研究所(産総研)福島再生可能エネルギー研究所で太陽光と風

会場では燃料電池車からホンダ製の可搬型外部給電器を介して取り出した電気を音楽機材につないだ。ふくしまハイドロサプライが運んだ水素は、ベース演奏の電源となったという。

同研究所客員研究員で人気ロックバンド「LUNA SEA」や「X JAPAN」の水素コンサートを実現させた国分所長(右から2人目)。同3人目はSUGIZOさんのギターリストSUGIZOさんは「世界的な影響力のあるU2が水素コンサートを実行し世界に情報発信した」とのコメントを発表し、水素利活用の多様な期待を寄せた。

